

浦賀上陸地支局

(昭和三十一年一月十日)

史實調査參考資料報告

所在地	職官	摘要
浦賀上陸地支局	職官 [Redacted]	終戰時 [Redacted]
所屬部隊	氏名	職、支、更
支那軍 變以降 二於元 自軍略	一、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 二、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 三、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 四、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 五、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 六、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 七、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 八、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 九、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 十、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊	及主上、降 加、姓名、 記、
所屬部隊	一、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 二、編成、 三、編成、 四、編成、 五、編成、 六、編成、 七、編成、 八、編成、 九、編成、 十、編成、	最後、所屬 部隊、記、 尚、其、以、降、 所、屬、部隊、 記、
終戰又、主、 力、戰、斗、 終、了、後、 狀況	一、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 二、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 三、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 四、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 五、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 六、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 七、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 八、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 九、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊 十、昭和三十一年八月九日第九二海軍陸上隊	歸還、輸送、 狀況、併、 記、
其他、考、 考、予、項、	十一、	

51

浦賀上陸地支局

(昭和二十一年一月十日)

史實調査參考資料報告

摘要

所在地	浦賀上陸地支局	職官	[Redacted]	終戦時ノ モリヲ記ス
所屬部隊	他支隊第1大隊	氏名	[Redacted]	モリヲ記ス
支那軍 変以降 三於凡 自出略 歴	一、昭和二十一年八月九日第一支隊 二、昭和二十一年八月九日第一支隊 三、昭和二十一年八月九日第一支隊 四、昭和二十一年八月九日第一支隊 五、昭和二十一年八月九日第一支隊 六、昭和二十一年八月九日第一支隊 七、昭和二十一年八月九日第一支隊 八、昭和二十一年八月九日第一支隊 九、昭和二十一年八月九日第一支隊 十、昭和二十一年八月九日第一支隊	[Redacted]	[Redacted]	職、支及更 及主ナル夫 加戦者名ヲ 記ス
所屬部隊 一、編成 二、月日及編 三、制本及備 四、概要	一、昭和二十一年八月九日編成 二、編成時ノ概要 三、編成時ノ概要 四、編成時ノ概要 五、編成時ノ概要 六、編成時ノ概要 七、編成時ノ概要 八、編成時ノ概要 九、編成時ノ概要 十、編成時ノ概要	[Redacted]	[Redacted]	最後ノ所屬 部隊ヲ記ス 尚其以降 所屬部隊 ノ命令モ 記ス
所屬部隊 一、作戦 二、概要	一、浦賀上陸地支局防衛 二、天一夜作戦 三、概要	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
終戦又美軍 力ヲ戦斗 終了後 状況	一、昭和二十一年八月九日 二、昭和二十一年八月九日 三、昭和二十一年八月九日 四、昭和二十一年八月九日 五、昭和二十一年八月九日 六、昭和二十一年八月九日 七、昭和二十一年八月九日 八、昭和二十一年八月九日 九、昭和二十一年八月九日 十、昭和二十一年八月九日	[Redacted]	[Redacted]	帰還輸送 状況ヲ併 記ス
帰郷又 連絡先	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其他、参 考、手、録	十二	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

51

M

史實調査參考資料報告

摘要

備考	其ノ他ノ參考事項	先 歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戦經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬部隊(固有名)	職官	終戦時ノモノヲ記ス
							全右所在地	氏名	
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	イシ	[Redacted]	終戦後ハキトシテ自他ノ為ノ業ヲ遂ゲ	宮古島ニシテ警備ノ勤務	昭和十九年八月十日、遂步結束	内地ニシテ勤務ス	[Redacted]	肥後八幡村	
			歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス	以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス			

66

66

關東上陸地支局 昭和21年3月28日

史實調査參考資料報告

摘要

所屬 (固有名)	全右所在地	氏名	官	終戦時ノモノヲ 記ス
獨逸機関銃不入大隊	北支	陸軍大尉	少隊長	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和二十一年七月七日 滿州ニ在リテ勤務 至二十四年三月十日 自札幌ニ在リテ勤務 至二十八年八月十五日 自札幌ニ在リテ勤務 至三十二年三月十日 自宮古島ニ在リテ勤務	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	昭和二十五年八月十五日 後方編成	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
所屬部隊作戦經過ノ概要	宮古島ニ在リテ警備勤務	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	終戦後ハ自派業務ニ従事	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
其ノ他ノ參考事項	ナシ	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	[Redacted]	[Redacted]	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス

史實調査參考資料報告

備考	其ノ他ノ參考事項	先	歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戦經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬部隊(固有名)	職官	摘	要
								全右所在地	氏名		
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	ナレ			現代自衛隊作戦に従事	官古嶋飛子所衛勤勞に従事	昭和九年八月十五 於東京 徒歩編成	自昭和一九八五 獨立機關銃第一大隊小隊長及至昭和二〇三三 副官トシテ沖繩縣官古嶋ニ於テ勤勞	獨立機關銃第一大隊 獨立機關銃第一大隊 陸軍中尉		職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス	
				歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ尙ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス						

史實調査參考資料報告

摘要

備考	其ノ他ノ參考事項	先	歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戰經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬部隊(固有名)	職官	終戦時ノモノヲ
								全右所在地	氏名	記ス
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス				終戦後十一月二十三日(宮古島在住)十二月五日(那覇本島)以迄所屬一轉移 三十一年三月二十七日浦契上陸	宮古島ニ於テ 天一早ノ作戰ニ參加	昭和十九年八月十五日於山形 球田八部隊獨立機南隊第十八大隊編成 テ隊員ヲ鏡	宮古島獨立機隊隊長	大尉		

Mw

史實調査參考資料報告

摘要

備考	其ノ他ノ參考事項	先 歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戰經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬部隊(固有名)	職官	終戦時ノモノヲ
							全右所在地	氏名	記ス
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	フシ	[Redacted]	終戦後ハ主トシテ自営ノ業務ニ従フ	上五古山ニ在リテ牧畜ニ勤シテ務メ	昭和十九年一月十五日 陸軍編成	昭和十五年十月 昭和十六年十月 昭和十九年十月 昭和二十年三月 上五古山ニ在リテ勤務	独立機田銃方大隊	陸軍少尉	[Redacted]
			歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス	以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ	職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス			

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名稱)	全右所在地	職官		終戦時ノモノヲ 記ス
		氏名	職官	
松浦 隆		陸軍中尉	少隊長	
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和三十二年四月 昭和三十二年十月 昭和三十二年十月 昭和三十二年三月	昭和三十二年四月 昭和三十二年十月 昭和三十二年十月 昭和三十二年三月	昭和三十二年四月 昭和三十二年十月 昭和三十二年十月 昭和三十二年三月	職ノ變更及主ナ ル參加戰闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和三十二年八月二十八日 陸軍編成			
所屬部隊作戦經 過ノ概要	宮古島ニ在リテ勤務			最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力 ノ戰闘終了) 後ノ概況	終戦後ニ在リテ自任ノ為メ業務ニ従フ			歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)				
其ノ他ノ參考事 項	ナシ			
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス			

Am

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名稱)	全右所在地	職官 氏名	終戦時ノモノヲ 記ス	支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	所在地ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	職ノ變更及主ナ ル參加戰鬪名ヲ 記ス	所屬部隊作戰經 過ノ概要	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス	終戦(又ハ主力 ノ戰鬪終了) 後ノ概況	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス	先 歸郷(又ハ連絡)	其ノ他ノ參考事 項	備 考
独立機甲銃中隊	由地ニアリテノ勤務ス	少尉 [Redacted]	職ノ變更及主ナ ル參加戰鬪名ヲ 記ス	昭和十九年八月十五日 迄歩編成	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス	主トシテ自活作業	[Redacted]	ナシ	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス				

史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名)	全右所在地	職官	摘要
獨多掛系 某第十八大隊	沖繩縣 安古古島	小隊長 陸軍少尉	終戦時ノモノヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	自昭和二十一年九月三十日 至昭和二十二年七月十三日 ニ所属北支ニ於テ勤務 自昭和十九年八月十五日 至昭和二十年五月十五日 獨多掛系 某第十八大隊 隊長トシテ沖繩 縣安古古島ニ任ラレテ勤務	職ノ變更及主ナ ル參加戦闘名ヲ 記ス	
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年八月十五日 迄ニ編成		最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	安古古島ニ於テ防衛勤務ニ從事		
終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	現地自活作業ニ從事		歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]		
其ノ他ノ參考事 項	ナシ		
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

41

47

関東上陸地支局

昭和二十一年三月

七日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊

独立機南銃第十八大隊

職官 中隊長 陸軍大尉

終戦時ノモ
リ記ス

今右所在地

南西諸島内 宮古島 八名

[Redacted]

職ノ変更
及主ナル参
加戦斗名ヲ
記ス

支那軍変以
降ニ於テ自
己ノ略ヲ

昭一五、七、九 應召 山西省ニ進出、歩二七聯隊中隊長、独立機南銃
昭一六、一、九 召集解除
昭一九、八、二 召集、機中隊長、宮古島防衛、
昭二一、三、八 解除

職ノ変更
及主ナル参
加戦斗名ヲ
記ス

所在部隊
編成年月日
及編制
佈、概要

独立機南銃第十八大隊、編成年月日 昭一九、八、二五
裝備 車、及三個中隊、一個中隊四小隊
上二八八銃(即チ編成ニテ標準ニテ有リ)

職ノ変更
及主ナル参
加戦斗名ヲ
記ス

所屬部隊
作戦經過
概要

第六九師団 ↓ 編成年月日 昭一七、四
生三個旅団(一旅団一營、共四個大隊)
二營、通信、踏査(砲隊ヲ降シ)
編成年月日 昭一四、二
第五個中隊、夜間ニテ通信ヲ断ス

最後ノ所屬
部隊ヲ主
ニ指シ
以テノ所屬
部隊ノ介ヲ
テ概要記ス

終戦ノ又ノ主
ノ戦斗終
了ノ状況

昭一〇、八、二五 宮古島ニ終戦ヲ告グ、全島ニテノ敵上陸無シ
昭一〇、三、三六 下着以下、宮古島ノ内地ニ帰還ス
昭一〇、三、三六 将校二名沖繩中島ニ送還、移管セラル
昭二一、三、二 将校十三名中一名ヲ内地ニ帰還セラル

歸還輸送
ノ状況ヲ
併記ス

その他ノ参
考事項

[Redacted]

備考
昭一〇、八、二五 復員省史部ニ送付ス

備考 昭一〇、八、二五 復員省史部ニ送付ス

24

24^m

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月二十六日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

沖繩縣宮古島

職官 陸軍中尉

所属部隊

獨立機関銃第六大隊

氏名

[Redacted Name]

支那事変以降ニ於ケル自己ノ略歴

昭和十九年八月十五日編成ノ完結
編成ノ年月日
及編制裝備ノ概要
昭和十九年八月十五日編成ノ完結
精成 總員三三二名(本部 中隊II 三中隊 小隊II 四小隊)
裝備 九二式重機関銃二四(一中隊八銃 小隊二銃)
車及馬匹總裝備ナシ

職ノ変更及主ナル参加戦ノ名ヲ記ス

所属部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

自昭一九一〇一〇
至昭一〇一〇一九
南西空襲戦ナシ未加
自昭二〇三二六
至昭一六二〇
天號作戦ニ未加
主トシテ宮古島中飛行場附近ニ在リテ陸地様
藥ト對空戦斗ニ服ス

最終ノ所属部隊ヲ主ニシテ尚其ノ以テノ所属部隊ノ分ヲモ概記ス

所属部隊ノ戦經過ノ概要

終戦又ハ主力ノ戦ヲ終了シテノ状況

帰還輸送ノ状況ヲモ併記ス

其ノ他ノ参考事項

ナシ

ナシ

歸郷又ハ連絡先

[Redacted Contact Information]

ナシ

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月五日)

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	宮古島	職官	中隊長陸軍大尉	終戦時ノモ ノヲ記ス
所属部隊	独立機関銃第一大隊	氏名	[Redacted]	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ記 ス
支那事変以 降ニ於ケル自 己ノ略歴	昭和十九年三月以降滿洲特異省一各附近縣(奉天及綏南)國境 警備ニ服ス。翌年十月有警解除 昭和十九年九月以降宮古島警備			
所属部隊ノ 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	昭和十九年八月十五編成終結 編成 總員三三名(本部、中隊三中队、小隊四隊) 裝備 九式重機関銃二四(一中隊八銃、小隊二銃) 車及馬正備裝備十			
所属部隊作 戦經過ノ概 要	自昭一九、一〇、一〇 至昭、一〇、一〇 南西空襲機敵斗ニ参加 自昭二〇、三、一 至昭、六、二〇 天號作戦ニ参加 古下宮古島防衛隊附置ニ在リ陣地構築ト対空戦斗 ニ服ス			
終戦又ハハ ノ戦斗終了後 ノ状況	終戦後ハ專ラ自任作中精神教育ニ徹ス 昭二〇、一、一六 宮古島第一号駆逐艦ニ依リ下士官以下帰隊者 二三三 名在リ 舟被四名帰還			
帰郷又ハ連 絡ノ先	[Redacted]			
其他ノ参 考事項	ナシ			
帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス	[Redacted]			
最終ノ所属 部隊ヲ主ニ 尚其ノ以テ ノ所属部隊 ノ介ヲモ概 記ス	[Redacted]			